

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	住宅ストック活用小委員会	主 査 名：森田芳朗 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：浦江真人
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>住宅ストックの活用を促す建築社会システムのあり方を多面的に検討する。主な対象は、空き家の増加や担い手の減少など今日的な課題が山積する地域の戸建て住宅（地）、マンション、集合住宅団地である。旧来型の市場メカニズムが機能しにくいこれらのストックにおいて、①ハードとソフトの両面を創造的に向上させていくためのしくみと、②それを後押しする社会のあり方を探る。</p> <p>初年度：既存住宅流通市場が成り立ちにくい地方部などにおける住宅ストック活用の課題と可能性に関する既往研究を整理し、先進的な事例の分析と視察（関係主体に対するインタビューおよび意見交換）を行う。視察では特に、市場性の高いエリアにおいて民間事業者や中間支援組織などの新たな主体がプロジェクトを成立させるためのヒント（①資金、人材、情報等のリソース、②自治体、自治会、住民、他の民間事業者・中間支援組織等との連携、など）を探る。</p> <p>2 年度：初年度の活動を継続し、民間事業者や中間支援組織などによる先進事例から得られた知見を整理する。</p>	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無	
	主査：森田芳朗（東京工芸大学） 幹事：橋田竜兵（岡山大学） 委員：齊藤広子（横浜市立大学）、鈴木雅之（千葉大学）、柴田建（大分大学）、村上心（椋山女子学園大学）、長谷川洋（国土交通省国土技術政策総合研究所）、高柳英明（東京都立大学）、小松尚（名古屋大学）、関栄二（AG デザイン）、小杉学（明海大学）、藤木亮介（明海大学）、高屋宏（市浦ハウジング&プランニング）	
設置 WG (WG 名：目的)	脱ベッドタウンの地域ネットワーク WG：：民間の立場で郊外エリアマネジメントに関わる担い手と研究者が実際のフィールドに関する議論を行うことで、エリア経営のビジネススキーム、コミュニティと民間の協働、郊外のリブランディング等に関する提案を行うことを目的とする。	
2023 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. Web 会議を通して、各地の地方部で先進的な取り組みを行う関係者に対してインタビュー及び意見交換を実施することができた 2. 地方部の住宅ストック活用の成立要件について実態を把握することができた
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会活動への関与の度合いが委員によりばらつきがあること 2. 住宅形式ごとの議論と共通する問題の把握が必要なこと